

情報公開制度

行政情報公開制度および個人情報保護制度の利用状況をお知らせします。

◎行政情報公開制度

令和元年度は、公開請求が50件あり、その内訳は右表のとおりです。

請求内容は、市の発注工事・業務委託契約・補助金に関する書類、土地境界確定書等市が行っている業務の幅広い分野について公開請求がありました。

一部公開については、住所・氏名等の個人情報や公開することによって法人等の正当な利益を害すると認めるに足りる正当な理由があるもの(工事設計書の単価や印影等)を除いて公開しました。

非公開の理由については、該当する文書が存在していない(事例がない、未作成等)ことによるものが大部分を占めました。

令和元年度の不服申立は1件あり、現在審査中です。また、平成30年度から継続審査していた1件の不服申立については、一部を公開に変更しました。

◎個人情報保護制度

令和元年度は、条例に基づく開示請求が13件ありました。訂正の請求、利用停止の請求はありませんでした。

●令和元年度行政情報公開条例の公開請求と処理状況

公開請求件数	処理状況
50件 内訳 市長部局 44件 市長部局外 6件	公開 12件
	一部公開 21件
	非公開 17件 (不存在 16件)
	却下 0件
	取下げ 0件

●令和元年度個人情報保護条例の開示請求とその内容

開示請求などの件数	内容別件数	処理状況
13件 内訳 市長部局 12件 市長部局外 1件	開示請求 13件	開示 9件
		一部開示 4件
		不開示 0件
		却下 0件
		取下げ 0件
	訂正請求 0件	-
	利用停止請求 0件	-
	苦情・相談 0件	-

■問い合わせ／総務課総務係 ☎880-6551

令和2年度地籍調査にご協力を

地籍調査事業による一筆地調査を大改野、岡豊町中島(山島・町)、十市(八丁・阿戸・丸山)の3地区で行います。

この調査は土地の一筆ごとの所有者、地番、境界などを確認するもので、災害時の境界復元や境界トラブルの防止に役立ちます。関係者及び地域の皆さんのご協力をお願いします。

■実施区域(小字名)

▶大改野／字 谷奥、土ヶ畝、門ノ本、茂知池、トチサコ、井ノ口、サコ田、中屋、名本屋敷、ヒウラ、コビアナ、櫛ヶ休場、上八久保、下屋敷、キヂヤシキ、ホドノ坂、煙草ジリ、西ノ久保、キワタカ谷、檜瀧、カラ谷、釜ヶ日浦

▲岡豊町中島(山島・町)

／字 ミトロの一部、カヲツ池、高木、島田の一部、丸田、町田、カキノモト、石ヶ坪、中川原、西ノヤシキ、蔵ノ町、瀧ノ宮、片瀬、國領、イノ頭

▲十市(八丁・阿戸・丸山)※／字 八丁、耳下り、浜地、石土、石戸前、阿戸、山根、北石土、沖岩、扇田、西阿戸、丸屋根、丸山、白岩、丸山ノ前、西井流、八丁前、八丁浜、阿戸浜、尼子崎、徳楽、千市、符間畝

※十市地区の調査区域は、変更する場合があります。

地籍調査の進め方



調査に先立って、土地所有者への説明会を実施します。
(6月上旬～8月に開催予定ですが、状況により中止する場合があります)



一筆ごとの土地について、土地所有者などの立ち会いにより、所有者、地番、境界などを確認します。



一筆地調査で確認した境界杭などを基に測量します。

■問い合わせ／地籍調査課 ☎880-6579

知って得する国民年金

国民年金保険料の納付期限は、翌月の末日です。忘れず納めましょう。

◆年金相談の予約受付専用電話のお知らせ(日本年金機構)

日本年金機構では、年金の相談や手続きの際にお客様をお待たせしないため、全国の年金事務所での相談の予約を受け付けています。予約受付専用電話を開設していますので、ご利用ください。

予約受付専用番号	0570-05-4890(ナビダイヤル)
受付時間	8:30～17:15 (土日祝日及び年末年始を除く)
予約相談の実施時間帯	(月曜日) 8:30～18:00 (火～金曜日) 8:30～16:00 (第2土曜日) 9:30～15:00 ※月曜日が祝日の場合は、翌日以降の開所日初日に18:00まで予約相談を実施しています。

- ・予約相談希望日の1か月前から前日まで受け付けています。
- ・ご予約の際は、基礎年金番号の分かる年金手帳や年金証書をご準備ください。
- ・当日の予約をご希望の場合は、お近くの年金事務所に問い合わせてください。

■問い合わせ／ 南国年金事務所 ☎864-1111
(自動音声案内に従って①→②と押すと、お客様相談室につながります。)

高知県では「高知県男女共同参画社会づくり条例」の中で、毎年6月は男女共同参画推進月間」と位置づけています。しかしながら、日本は世界から見るとまだまだ「男だから」「女だから」という思い込みにとらわれているのではないだろうか。先日、世界153か国を対象に行われた男女平等の実現度の指標となる「男女格差報告」の2019年ランキングで、日本は121位でした。首位は11年連続でアイスランド。同国のエーリン・フリーゲンリング大使が3月8日の「国際女性デー」を前に共同通信のインタビューに応じ、日本の若い女性に向け「夢を追いかけて。失敗は必ず次の糧となる」と呼び掛けていました。

エーリン氏によると、アイスランドも昔から平等が実現しているわけではなかったようです。転機となったのは1975年の大規模な全国ストライキでした。9割以上の女性が家事や仕事、育児の場から離れ、街の中心部で給与格差の是正や女性の人権について、「もう我慢できない」と訴えたのです。この全国ストライキにより国の機能がストップし、女性なしでは社会も家庭も成り立たないということや、有権者の半分を占める女性が現状に強い不満を抱えていることを、政治家は思い知ったのです。

男女共同参画の推進

さて、日本に目を向けてみると、女性だからと夢を諦めるのではなく、実現している方も多くいます。女性初のイージス艦長に就任した海上自衛隊1等海佐、大谷三穂さんは、女性のトップランナーとしてキャリアをひた走りながらも結婚、出産を経験しています。また、山手線の新駅「高輪ゲートウェイ」初代駅長、中村多香さんも女性です。中村さんは「駅長になりたい」と公言してきた方で、「駅を育てていくのが楽しみ」と、首都の新たな玄関口を託された喜びを語っています。

南国市は、男女が互いに社会の対等なパートナーとして認め合い、自分らしい生き方を尊重し、共に責任を担う社会を目指すために、小中学校に出向く男女共同参画推進出前教室など、様々な取り組みを行っています。男女の思い込みにとらわれず、一人ひとりが自分らしく生きていくよう、今後も内容をより充実したものにしていきたいと考えています。

*このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

■問い合わせ
人権啓発広報委員会
☎880・6569

※今月号の親子クイズは裏表紙に掲載しています。